

第2期加東市教育大綱における令和5年度の取組内容について

資料1

基本方針/基本的方向			担当課
<p>I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にした教育の充実～</p>	<p>令和4年度の主な成果見込と課題</p>	<p>課題を踏まえた令和5年度における取組</p>	
<p>①「確かな学力」の育成</p>	<p>○小中一貫教育の視点から9年間の経年比較ができるよう、12月に小学3年生から中学2年生までの国語と算数の2教科で総合学力調査を実施した。また、1年間の学習の定着を図るため、調査結果に応じた個別の学習を充実させた。 ○小中間の円滑な英語教育の連携・推進を図るため、ALT研修と英語科担当者授業研究会を兼ねて行い、授業改善を図った。英検の受検率を上げることが課題である。 ○授業や家庭学習で使える効果的な学習コンテンツを導入し、活用の推進を図った。アプリの特性上、ログインに時間がかかるものがあった。</p>	<p>○総合学力調査の結果分析を行い、継続して教師の授業改善に取り組む。 ○小中間の円滑な英語教育の連携・推進を図るため、英語教員、ALTを対象とした授業改善研修を行う。英検にチャレンジできるよう学習指導を工夫する。 ○授業や家庭学習で使える効果的なコンテンツを導入するとともに、活用事例を共有し、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。</p>	<p>学校教育課</p>
<p>②夢や志を持ち挑戦する力の育成</p>	<p>○トライやる・ウィークでは、地域の協力により、3年ぶりに事業所を通した5日間の体験活動ができた。地域の人との触れ合いを通し、公共の精神や協調性の涵養、感謝の心を育んだ。</p>	<p>○事業所を通したトライやる・ウィークの実施を継続し、社会と触れ合うことで、社会とのつながりや社会における自らの役割を考えるとともに、将来の自己の在り方・生き方を考えられるように取り組む。 ○個性を伸ばし、より深い興味関心が持てるよう、本物の芸術や、プロの高度な技能を授業などに取り入れる。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>○ふるさと学習「かとう学」の充実を図るため、各校や教科担当者会で取り組んだ副読本を活用した授業実践を事例集としてまとめ、各校へ配布した。各教科で副読本の活用を推進することで、ふるさとへの愛着や自信と誇りの醸成に努めた。</p>	<p>○引き続き、授業における副読本「かとう学」の効果的な活用方法を検証し、市立学校での利用を促進する。</p>	<p>小中一貫教育推進室</p>
<p>③「豊かな心」の育成</p>	<p>○兵庫教育大学と連携して、日本語初期指導の教職員研修を実施し、外国からの転入生等、日本語指導が必要な児童生徒に対する理解を深めた。 ○いじめを許さない児童生徒主体の活動に取り組み、その取組内容等を8月のいじめ防止フォーラムで発表し、他校の児童生徒との意見交流を行った。 ○加東市立学校人権教育講演会では、障害のある人の人権等、多様性を認め、共生する心を育むことができた。</p>	<p>○いじめを許さない児童生徒主体の活動に継続して取り組み、教師とともに健全な学校風土を醸成し、自他の人格を尊重する心、互いの個性を認め合う心を育む。 ○不登校児童生徒への支援を充実させるとともに、児童生徒が不登校にならない学校、学級づくりに取り組む。</p>	<p>学校教育課</p>

基本方針/基本的方向			
I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にされた教育の充実～	令和4年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和5年度における取組	担当課
④「健やかな体」の育成	<p>○子どもの体力向上推進委員会で、新体力テストの結果分析を行っており、各校の課題解決に向けて継続して取り組める運動環境を整える必要がある。</p> <p>○部活動指導員を増員し、専門的な技術指導により、生徒の主体的な活動を支援することができた。</p> <p>○全ての小中学校で薬物乱用防止教室を開催することができた。</p> <p>○運動への興味関心を高めるため、社高校体育科生徒が市立全小学校の体育授業の指導補助に入った。</p>	<p>○継続して取り組める運動を検討し、取り組んだ結果を経年比較し分析することで、体力向上につなげる。また、児童生徒が自ら目標をもって、運動に取り組めるよう推進する。</p> <p>○部活動の地域移行に向けた準備委員会(仮)を設置し、具体的な手順や課題を検討・協議するとともに、関係課・地域団体・兵庫教育大学との連携を図る。</p>	学校教育課
	<p>○栄養教諭による給食指導訪問をコロナ禍のため断続的に行ってきたが、令和4年度においては小学校全学年で授業形式の食育指導を実施することができた。</p> <p>○学校からの訪問による直接指導のニーズは高いので、今後指導の機会を増やしていく必要がある。</p>	<p>○これまで、中学生に対しての訪問指導は参観によるものだったが、栄養教諭が授業形式の訪問指導を行っていくことにより、小中全学年に対しての指導を強化して、児童生徒及び教職員の食育意識を高めていく。</p>	学校給食センター
⑤インクルーシブ教育の充実	<p>○発達検査を含めた子どもの発達・何でも相談の回数は、昨年と同様の回数を確保できる見込みである。</p> <p>○課題としては、発達サポートセンターの事業に参加された保護者から、現状等を話し合える機会があればという要望が上がっているため、検討する必要がある。</p>	<p>○相談事業の実施に加え、子どものいいところ伸ばし講座の事業に参加された保護者間の交流の機会を設ける。</p>	発達サポートセンター
⑥幼児教育の充実	<p>○研修会等を実施し、保育士等の資質向上を図ることで、質の高い教育・保育の提供ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等キャリアアップ研修(2分野：乳児保育分野、食育・アレルギー対策分野) ・加東市保育士等研修(コミュニケーション研修) ・幼児期人権教育指導者養成セミナー(理論編・実技編) ・親子セミナー及び「みんなたいせつ」プログラムの園内実践 	<p>○内容について検討した上で引き続き研修会等を開催し、保育士等の資質向上、質の高い教育・保育の提供につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等キャリアアップ研修 ・保育士等資質向上研修会 ・市内保育所等の職員の交流や情報交換のための年代別研修会 ・幼児期人権教育指導者養成セミナー ・自己肯定感を高める子育て相談 ・保育士等による「みんなたいせつ」プログラムの継続 	こども教育課

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和4年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和5年度における取組	担当課
①学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型研修とリモート、ビデオ・オンデマンドによる研修を組み合わせた効率的な研修体制が確立してきた。教職員が負担なく研修ができる体制が整い、ICT活用の幅も広がった。</p> <p>○スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携し、いじめ及び不登校の組織的な支援強化が図られた。不登校支援については、更に回復に向けた支援の見直し、学習環境の整備が必要である。</p> <p>○スクール・サポート・スタッフの全校配置により、学習や宿題プリントの準備、印刷、データ処理、コロナ関係の消毒等の教員業務が軽減され、子どもと向き合う時間が増えた。</p> <p>○兵庫教育大学との連携した不登校支援の研究やICT教育研修会等により、教職員の資質向上が図られた。</p>	<p>○不登校支援については、スクールソーシャルワーカーとの連携を強化するため、スクールソーシャルワーカーの勤務回数を増やす。</p> <p>○適応指導教室の支援を広げ、不登校児童生徒の状況に応じた指導・相談や安心して過ごせる居場所を提供できるように支援を進める。</p>	学校教育課
②家庭・地域の力を生かした教育の充実	<p>○青色パトカーによる下校時の巡回を行い、巡回の際には、各学校の職員室へ立ち寄り、教職員と面談のうえ情報交換を行い、子どもの安全確保に努めた。</p> <p>○ネットパトロールによって得た情報は、各学校へ速報し情報共有による指導に努めた。</p> <p>○兵庫教育大学と連携し、学生を学習支援員として、各学校へ派遣し、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学習上のつまずきの解消を図った。</p> <p>○社高校との連携により、体育科の生徒を派遣し、児童の体力向上を図るとともに、運動への興味関心を高めた。</p> <p>○不登校支援については、家庭や地域とのさらなる連携が必要である。</p>	<p>○補導委員活動は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら活動を行う。各学校の生徒指導担当者との連携を強化する。</p> <p>○加東市連合PTA研修会を開催し、地域と保護者と教職員が協働して子どもを育てるという意識を高めていく。</p>	学校教育課

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和4年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和5年度における取組	担当課
②家庭・地域の力を生かした教育の充実	<p>○学校運営協議会と地域学校協働本部を両輪として、「地域とともにある学校づくり」を推進した。</p> <p>○東条地域において、見守り隊のマップが完成し可視化することができ、児童生徒の登下校の見守りが強化された。</p>	<p>○学校と地域が一体となって子どもを育てていくことで、子どもの安全を守るとともに、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもの育成に努める。</p>	<p>小中一貫教育推進室</p>
	<p>○乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、「かとう子育てねっと」による情報提供等を実施した。</p> <p>○子育て及び子育て支援に関する児童館での講座等を開催し、保護者同士の交流の機会を増やし、子育てサークルの活動を支援した。</p>	<p>○子どもたちの体験事業について、新規の参加者を確保する手法として、加東市の自然を活かした企画や兵庫教育大学との連携による事業、保護者や子育て家庭を支えるための無料で参加できる教室を増やすことについて検討し、魅力ある体験の場を提供する。</p>	<p>こども教育課</p>
	<p>○小学生チャレンジスクールについて、子どもたちが、自立して力強く生き抜く力「人間力」の育成を目指して、伝統文化・創作・体験・野外活動の分野で体験事業を行った。一方で、新規の参加者をどう確保するかが課題となっている。</p>	<p>○小学生チャレンジスクールについて、加東市の自然を活かした企画や兵庫教育大学との連携による事業、魅力ある体験の場を提供することで、新規の参加者を確保していく。</p>	<p>生涯学習課</p>
③学校施設の整備と就学支援	<p>○小中一貫校整備において、東条地域小中一貫校では、旧東条中学校校舎棟解体、大グラウンド・駐車場整備、部室棟建設工事を実施し、今年度をもって平成28年度から着手した事業を完了する。社地域小中一貫校では、増築校舎・交流棟ほかの小中一貫校建設に着手した。滝野地域小中一貫校整備では、今年度から事業をスタートし、基本計画、用地測量、土地鑑定、物件移転補償調査を実施した。</p>	<p>○小中一貫校整備において、社地域小中一貫校では令和7年4月開校に向けて、引き続き小中一貫校建設工事を進める。滝野地域小中一貫校では、小中一貫校の基本設計を行うとともに、用地取得及び物件移転補償を実施する。</p>	<p>小中一貫教育推進室</p>
	<p>○小中一貫校の整備計画を踏まえ、既存学校施設の修繕を適切に行った。</p> <p>○就学援助事業においては、オンライン通信費を増額するなど、就学に必要な費用の一部を援助することができた。しかし、物価高騰により、援助が必要な家庭にとっては厳しい状況が続いている。</p>	<p>○既存の学校施設について、教育環境を確保するために、引き続き小中一貫校の整備計画を踏まえた修繕を適切に行っていく。</p> <p>○就学援助制度の周知に努め、援助が必要な家庭への支援につなげ、学習機会を保障する。</p>	<p>教育総務課</p>

基本方針/基本的方向	令和4年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和5年度における取組	担当課
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進			
①多様な学習機会の充実	○高齢者大学について、合同講座・教養講座に加えて、少人数で行うスキルアップ講座を各公民館で開催することで、学びの機会を充実させた。一方で、様々な活動の担い手となる人材の育成や学生の高齢化、新たな入学生の減少が課題となっている。	○運営委員会において、楽しく学べる合同講座・教養講座、スキルアップ講座、館外研修を開催し、魅力ある高齢者大学となるようアイデアを募り、学生が増加するような取組を検討していく。	生涯学習課
②人権教育・啓発の推進	○様々な人権問題をテーマとして、第16期加東市民人権講座（年3回）や人権啓発講演会を集客して開催したほか、人権啓発情報誌を発行（年2回）した。また、広域隣保活動事業や地域に学ぶ体験学習支援事業、男女共同参画事業等を実施している。 ○地区住民学習会については、動画視聴や資料配布など複数の実施方法を提案し、昨年度よりも多くの地区に取り組んでいただいた。	○多くの市民に様々な人権問題についての理解を深めていただけるよう、引き続き実施方法を工夫しながら講演会等を実施していく。	人権協働課
③文化芸術の振興	○芸能発表や作品展示を行う加東市文化連盟祭を開催し、発表の場を設けることで、文化芸術活動の継続につなげた。 ○加東市文化連盟について、会員の高齢化・後継者不足が課題となっている。	○加東市文化連盟について、加東市文化連盟祭などの発表の場を他のイベント（秋のフェスティバル・市文化祭）と合同で開催することで、活動を広く市民にPRするとともに、発表の機会を設けることで、団体の活動継続を支援していく。	生涯学習課
④文化財の保護と活用・継承	○三草藩武家屋敷旧尾崎家の修繕工事を実施し、安全安心な環境を整えた。また、昨年度から開始した加東遺産講座が軌道に乗り、文化財教室等とともに歴史に触れる機会が拡充できた。 ○地域の伝統や文化を親しみのあるものにする中で、郷土愛の育みを弛まず行っていかなければならない。	○加古川流域滝野歴史民俗資料館や文化財施設に誘う取組を進める。また、文化財の価値や魅力を広く周知し、関心を高めるため、文化財を活用した事業やイベントを実施し、併せて文化財保存も推進していく。	生涯学習課
⑤生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	○市民の健康増進を目的としたふれあい球技大会、地域コミュニティづくりとしての地区親善ソフトボール大会などを開催することができた。 ○新型コロナウイルス感染症対策を施し、第15回加東伝の助マラソン大会を開催するため取り組んでいる。 ○市民の皆様安心して大会などに参加してもらうため、大会運営に関しては細心の注意が必要である。	○屋外競技だけでなく、屋内競技や多くの人が集まる大会を安全・安心に開催するために、大会運営を工夫し、より多くの方に参加していただけるよう努めていく。	生涯学習課

基本方針/基本的方向			
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和4年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和5年度における取組	担当課
⑥社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営	<p>○社会体育施設の老朽化が進んでおり、維持費や施設改修費が増加していることから、今後継続して建物を維持管理していくために、長寿命化計画を策定した。</p> <p>○効率、効果的な運営を目的に、体育施設について指定管理者制度を導入することとし、候補者を選定した。</p>	<p>○社会教育施設及び社会体育施設について、長寿命化計画に基づき、計画的に改修を行っていく。</p> <p>○令和5年4月から5年間、社会体育施設において指定管理者制度を導入し、市民サービス向上・質の高い体育施設の管理・運営に努めていく。</p>	生涯学習課
⑦図書館サービスの充実	<p>○新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子どもたちを中心に市民に対して読書活動推進事業等の行事を実施し、図書館利用を推進することができた。</p>	<p>○引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子どもたちを中心に市民が利用しやすい図書館サービスを行う。さらに図書館への来館が困難な人たちに向けてのサービスを実施する。</p>	中央図書館